

野村インベストメントフォーラム 2008

富士フイルムホールディングス株式会社

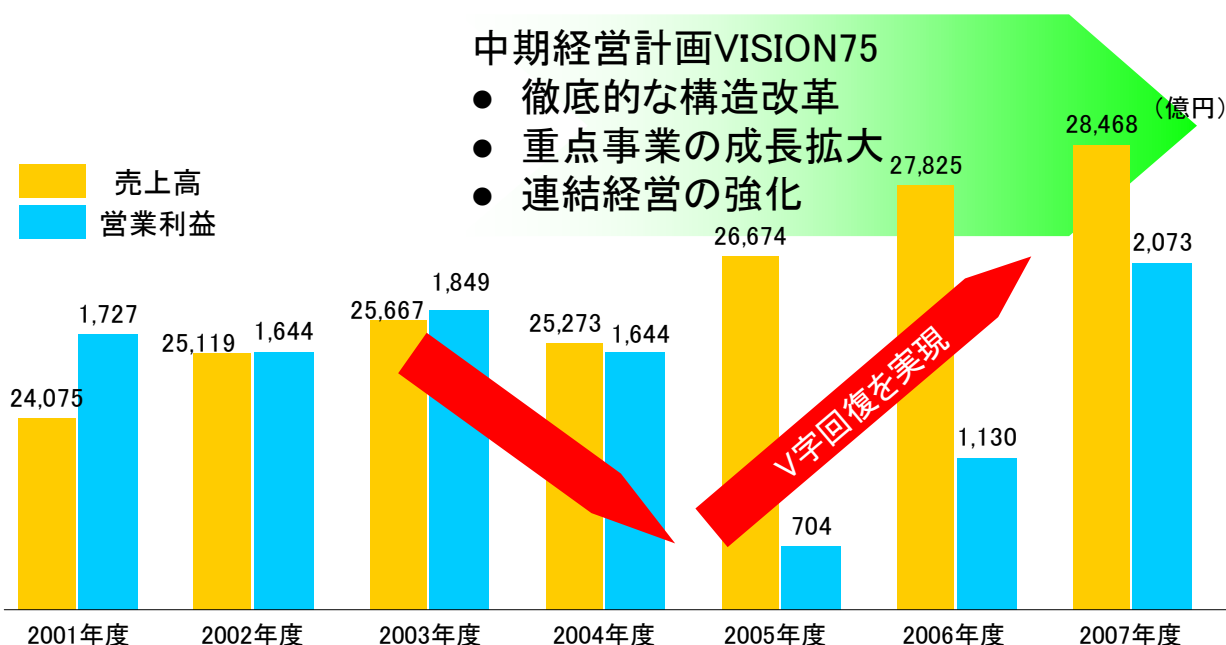
代表取締役社長・CEO 古森重隆

2008年12月

注意 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

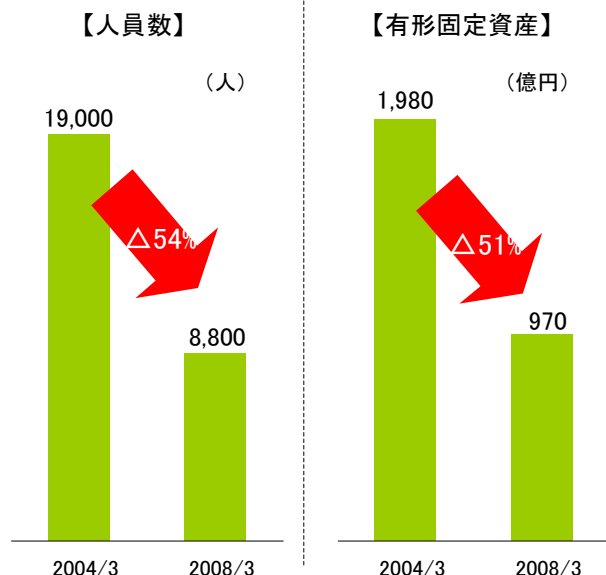
業績推移

- 2007年度：売上高・営業利益とも過去最高額を達成

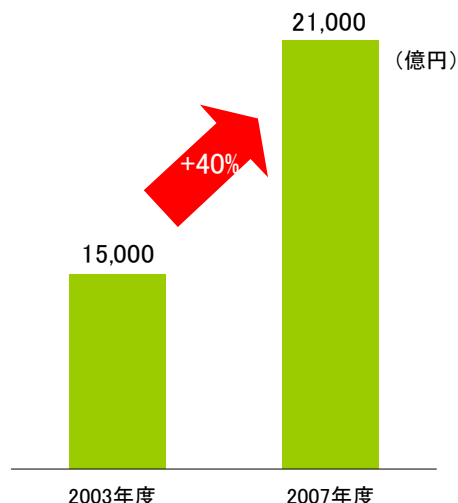


■ 写真感光材料事業規模の最適化と重点事業強化

写真感光材料事業の縮小



重点事業*の売上高



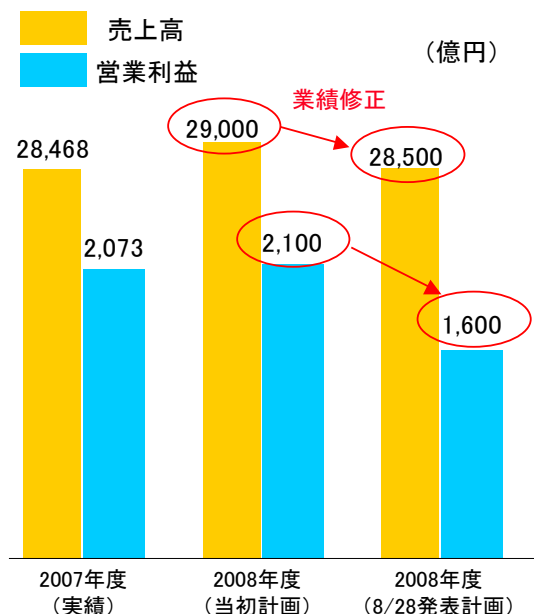
*重点事業: メディカルシステム/ライフサイエンス、グラフィックシステム、ドキュメント、光学デバイス、フラットパネルディスプレイ材料事業

現在の市場環境

■ 市場環境の激変

- 世界的景気悪化
 - 急激な円高
 - 原材料価格高騰
- ▼
- 事業全般に影響
 - 成長軌道復活に向けて改革を加速

【8/28に業績予想を修正】



■ イメージングソリューション

● フォト事業

➤ 2005・2006年度の構造改革(人員削減、生産再編等)



- ✓ 原材料価格高騰による収益悪化
- ✓ カラーペーパー価格競争激化
- ✓ 写真プリントボリュームの減少

➤ さらに踏み込んだ構造改革を実施



- ✓ 欧米の現像所集約等による固定費削減
- ✓ 国内物流子会社の人員削減
- ✓ プリント戦略推進-フォトブック、多様なプリント方式による囲い込み

フォト事業を安定したキャッシュ創出源に変革

■ イメージングソリューション

● デジタルカメラ事業

直近動向

- ✓ 当社製品の特長の訴求が不十分
- ✓ サプライチェーンマネジメント(SCM)の不徹底による在庫増→価格下落による採算悪化

当社展開

- ✓ リスク拡大が予想される地域で販売戦略を見直し、選択と集中を推進
- ✓ SCM(在庫管理、需給計画精度向上等)の早急・大胆な改革
- ✓ コスト構造の徹底的な洗い直し
- ✓ 高付加価値化戦略の推進 : Super CCD EXR搭載による高画質を訴求
: 3Dシステム搭載で写真の楽しさを追求



2009年度に赤字を大幅に削減する

■ ドキュメントソリューション

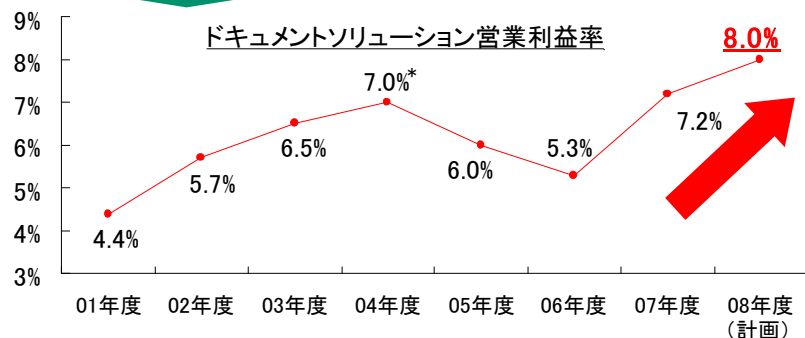
直近動向

- ✓ 景気悪化による企業の経費節減/投資減少の影響が顕在化
(国内総需要/市場価格 下落傾向の継続、欧米向輸出売上のスローダウン)

当社展開

- ✓ 国内営業戦力の強化 国内業務プロセスの革新(効率化と生産性向上)
- ✓ 成長事業領域の強化 グローバルサービス、プロダクションサービス、アジア・中国事業、新興国向け輸出
- ✓ 更なるコストダウン/経費の効率化

収益性のさらなる
改善を目指す



*04年度は、一過性の代行返上益を除いた実質利益率を表示。(含みベースでは9.8%) 6

■ インフォメーションソリューション

●フラットパネルディスプレイ材料事業

直近動向

- ✓ パネル生産調整による業績への影響懸念

当社展開

- ✓ 需要増が見込まれる20”クラスTN-TV向けWVフィルムの供給拡大
- ✓ 手薄であったノートPC向け40μ厚TACフィルムのシェア拡大
- ✓ 大手メーカー向けVA位相差フィルムシェアアップ

当社の中核として事業拡大を積極的に推進

■ インフォメーションソリューション

● 内視鏡事業

直近動向

- ✓ 競争激化の中、リソース不足により苦戦・成長鈍化

当社展開

- ✓ フジノン(株)主体であった従来の体制を改め、富士フイルム(株)のリソースを積極投入する体制へ転換
- ✓ 地域特性に対応した開発、販売、アフターサービス体制の早期拡充
- ✓ 11月発売の最上位シリーズ「Advancia」、6月発売済みの「Justia」等の新製品を積極拡販

富士フイルム(株)を軸とした新たな体制の下
早期に再び成長路線を確立

■ インフォメーションソリューション

● メディカルシステム事業

直近動向

- ✓ 先進国を中心に医療用フィルム需要が減少

当社展開

- ✓ フィルムに代わる新たな収益の柱となる機器・ネットワークシステム(PACS、HIS、RIS)を拡大
 - 世界トップシェアのFCRに加え、直接変換型FPD搭載のマンモ撮影機を投入
 - 国内トップシェアのSYNAPSE(PACS)は順調に売上が拡大。中国 天健社の子会社化、米国 Empiric社の買収等により、ネットワークシステム拡大を加速

フィルム主体から機器・ネットワーク主体へ
ポートフォリオ転換を図り新たな成長を実現

(億円)

		'08年度上期 (実績)		'08年度通期 (計画)		'07年度通期 (実績)	
イメージング	売上		2,311		4,600		5,471
	営業利益	△3.3%	△75	△3.5%	△160	1.9%	106
インフォメーション	売上		5,415		11,800		11,081
	営業利益	9.2%	498	9.3%	1,100	12.2%	1,354
ドキュメント	売上		5,658		12,100		11,916
	営業利益	7.9%	451	9.1%	1,100	8.2%	987
構造改革費用			△41		△400		△330
セグメント間取引消去等			△21		△40		△44
合計	売上		13,384		28,500		28,468
	営業利益	6.1%	812	5.6%	1,600	7.3%	2,073
税金等調整前当期純利益		6.1%	817	5.7%	1,630	7.0%	1,993
当期純利益		3.4%	453	2.8%	800	3.7%	1,044
1株当たり当期純利益			89.97円		158.61円		205.43円
為替							
	米ドル		106円		101円		115円
	ユーロ		163円		147円		162円

※下期為替前提 米ドル:95円 ユーロ:130円

10

今後の経営の考え方

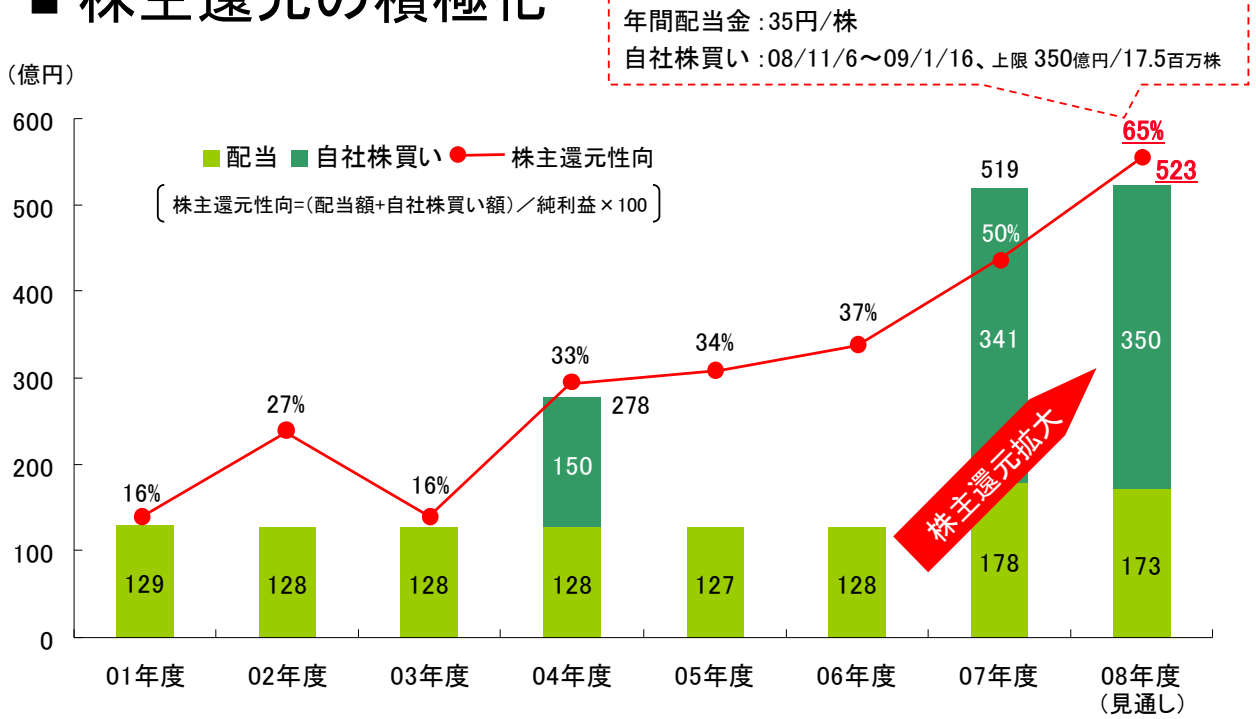
FUJIFILM

■ 逆風に耐える経営の推進

- スリム&ストロング活動による徹底的なコストダウン
- 設備投資、研究開発投資等の手綱を緩めず、成長戦略を推進
- 各事業における諸活動の徹底的な見直し

**事業競争力・企業体質強化を絶えず推進し
厳しい経営環境下でも新たな飛躍を狙う**

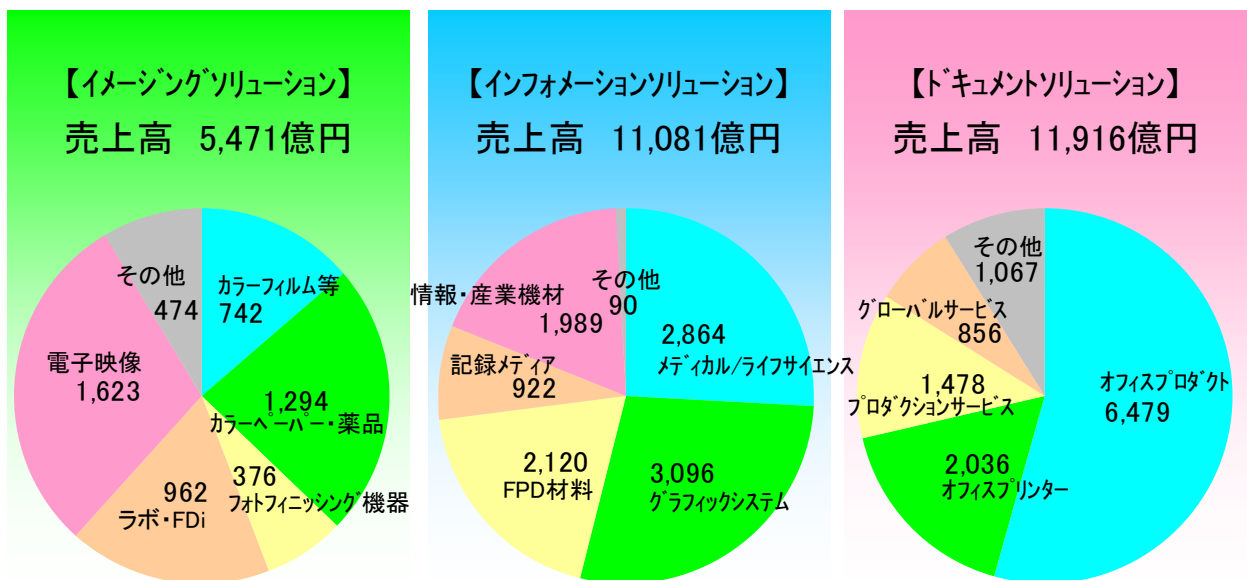
■ 株主還元の積極化



参考資料

■ 売上構成比(2007年度)

● 連結売上高 : 28,468億円



FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>